

一般質問 (3)

これでいいの 西東京

小峰 和美(みらい)

3館合築について

意見 市民に親しまれ地域に根差した中央図書館、田無公民館が市民会館の耐震を理由に合築を考えている。市民の意見を聞いていますか。この場所に築いた先人たちの努力をどう考えているか。中学校のぼや火災について

意見 子どもの嫌いな野菜はピーマン、ニンジン、トマトの順だ。家庭では献立や調理を工夫して好き嫌いをなくそうと努力している。学校給食では、栄養価だけの献立ではなく、いかに給食がおいしいか、創意工夫をしてはいいかがか。

小中一貫校設置について

意見 平成28年4月に改正学校教育法が施行され、自治体などの判断で6・3制を5・4制や4・3・2制にできる。これは中1ギャップの解消や学力向上を図る目的だ。武蔵野市は、いち早く検討を始めた。本市も始めたらどうか。

50年100年先の世代を見据え 市民のための議論を続けよう!

山崎 英昭(みらい)

質問 庁舎統合方針検討特別委員会の視察で、市長がリーダーシップを発揮し、市民への情報提供と対話を重ね、市民合意を得る大変さと必要性を改めて感じた。住民投票も含めた民意反映の取り組みを求める。

質問 庁内での検討を進める。保谷庁舎は新基準での耐震診断がなされておらず耐久性の科学的根拠がない。早急な耐震対応を求める。

質問 文化芸術活動の振興や学校行事等のニーズに配慮するため、長期的な視野に立ち1千人、1千500人規模の大ホールが必要だ。

市内のオリンピック選手に期待! 市民全体で応援しよう!

桐山 ひとみ(みらい)

地域のスポーツ支援、オリンピック・パラリンピック支援について

質問 結果を出す前から市内のオリンピック候補生を市で応援し、市民に知ってもらい、みんなで応援していく過程が大事である。スポーツ振興課だけではなく、教育委員会、学校も通して全庁的に支援の輪を広げてほしい。

意見 市内オリンピック候補生の出場が決まったら、横断幕等で市内全体を盛り上げ、市長、教育長を含め支援の輪をさらに広げていただきたい。

質問 がん検診の受診率向上とあわせ、二次検診である精密検査の受診率向上のため、医師会が公益事業として費用の一部を助成するとのことだが、その後は。

質問 医師会から精密検査の受診率向上のため提案されたが、精密検査は保険診療にかかわる部分もあるため、現在医師会が各関係機関に問い合わせている。

明日の災害に備えよ! 地域防災強化17項目の質問

納田 さおり(無所属)

質問 地域防災力強化のため17項目を質問する。①避難所飲料水確保②2庁舎体制の指揮命令系統の脆弱性③危機管理監と防災専門職員の配置④応急危険度判定士資格取得職員の拡充と民間連携⑤罹災証明発行訓練⑥地域防災計画に議会の役割明記⑦自治体間災害協定の拡充⑧23区の後方支援⑨災害物資の受け入れ態勢強化⑩大型集合住宅の防災対策⑪仮設住宅用地確保⑫災害時要支援者対策強化⑬女性・子ども対策強化⑭



毎年行われる総合防災訓練

も対策強化⑭

健康施策にもっと市長のカラーを 「まち・人」が元気なまち西東京

浅野 高司(自民)

質問 健康応援都市の実現が総合戦略の基軸というが、全庁的に浸透しているのか。



質問 健康応援都市の実現が総合戦略の基軸というが、全庁的に浸透しているのか。

待機児解消は大切だが 子どもの育ちや発達から議論せよ

遠藤 源太郎(自民)

質問 向台中央通り拡幅は用地取得済みの場所から工事せよ。まちの姿が見える。

質問 工事の準備に入る。

質問 田無高校南側の緑と歴史の散歩道は歴史的使命を終え危険な道路になった。

質問 課題の整理、道路の線形などを検討する。

質問 町内会・自治会はじり貧傾向だ。市民意識は。

質問 課題は認識している。田無駅南口広場の実現は、南部地域のまちづくりのなかめ、起爆剤になる。

質問 広場実現のため、早い時期に事業認可を受ける。

質問 自転車は、みずから守るガードがないことをPRしてモラル向上を目指せ。

質問 安全キャンペーンや学校での指導を充実する。

質問 中学生は職場体験を通じ社会人への自覚やボランティア精神が養われる。

質問 生徒に望ましい職業



市立小学校で行われた自転車教室

観・勤労観や奉仕の精神が育まれると評価している。今後は、職場体験を学校教育の一環として位置づける。待機児解消に向け世を挙げて一大問題化している。一番大切な子どもの立場から議論されていない。子どもの育ちや発達を尊重せよ。

質問 保育ニーズへの対応と同時に、1歳までは子育てを楽しめる支援をする。